

# 直野寮の今

寮務主事 山根 繁樹  
(人文科学科)



1 年生男子の居住する 7 号館

## ■新たな1号館

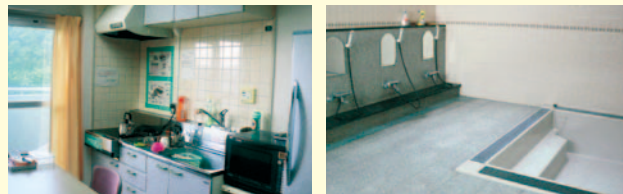
平成25年3月、多くの卒業生が高専入学当初の濃密な時間を過ごされた1号館が取り壊されました。これに先立って、4号館北側にあった駐車スペース(ラジオ体操の場所として記憶なさっている方も多いかも)の西端に、新しい女子寮として新1号館が建設されました。それに伴い、今年度から1年生男子は、昨年度まで女子寮として使っていた7号館に入っています。



旧 1 号館の解体作業



7 号館の洗濯・乾燥室(各階)と 2 人部屋居室



7 号館の補食室(各階)と風呂



新しく建った 1 号館(女子寮)

現在、1号館(女子寮)の在寮生数は54名、7号館の1年生男子在寮生数は83名です。7号館には、館長・副館長、指導寮生6名もいます。男女合わせ、5年生までのすべての寮生数は、390名(4/1現在)です。専攻科生も受け入れますが、現在はいません。

## ■生活環境の変化

新しい建物が建っただけでなく、古い号館の改修も進んでいます。たとえば、水回りはずいぶん改善され、3号館を除くすべての号館のトイレが「シャワートイレ」となりました。3号館の水回りも今年度中に改修される予定です。お風呂も、現時点では男子用に3つあり、上館風呂と7号館風呂には、個室シャワーも併設されています。また、平成23年度には、全居室にエアコンが設置されました。もちろん集中管理はされていますが、以前とは比較にならない快適さが実現されています。

## ■変わらぬ寮生活/変わりゆく寮生活

新しい建物が増えて寮生活に変化が生じただけでなく、寮生(高専生)の質も変化しています。今の寮生(高専生)は、総じて素直で従順な子が多く、わかりやすい(?)問題行動はほとんどありません。ただし、意思決定ができない子や、人付き合いにおいて脆さを持った子が散見されるようになりました。また、基礎学力は、はっきりと低下しています。一方、寮生会の活動は今も活発で、毎週日曜日の夜には3号館ホールで「集会」、ではなく「直野塾」(1年生対象の勉強会)を開催しています。また、6月に行われる「寮祭」では、寮生全員でのバーベキューとピンゴ、カラオケ、オールナイトのビデオ鑑賞を楽しみました。やはり寮には、あいつも変わらぬ寮の青春があります。

同窓会の皆様におかれましては、松江高専へのご支援はもとより、直野寮につきましても変わらぬご支援をいただきますよう、よろしく願い申し上げます。



寮祭(バーベキュー)

**事務局より** 先日、50周年記念事業に関わる会議で「松江高専のスクールカラー」が話題にのぼりました。ベテラン教職員に尋ねると多くの方から「どうも青らしい」という答えをいただきましたが、皆さん理由はわかりませんでした。「青」といえば、英語のBlueに「憂鬱な」という意味があるように寂しさを表す色でもあります。青「青春」という若さを表現することや、エンジニアを育成する学校としては「信頼」や「着着き」というイメージとしてこの色が使われてきたのではないのでしょうか。今後も「青」のイメージを継承できる学生が育つことを願ってやみません。(M)

# 松江工業高等専門学校

# 同窓会 会報

復刊  
第3号

2013.8.1発行

## 同窓会事務局

〒690-8518 島根県松江市西生馬町14-4 松江工業高等専門学校内  
TEL: 0852-36-5111 FAX: 0852-36-5119 E-mail: m-soumu@matsue-ct.jp  
<http://www2010.matsue-ct.ac.jp/dosokai/>

## ご挨拶

松江工業高等専門学校同窓会 会長(10期・土木) 多久和正司



記録的な猛暑が続き、何か地球規模的な異変があるのではないかとという疑念を改めて感じるとともに、政治・経済とも私たちの生活を取り巻く環境も目まぐるしく変わる昨今、会員の皆様におかれましてはご変わりなく御活躍のことと存じます。

会報を復刊して以来今回第3号となりますが、会員の皆様から感想や激励の声もお寄せいただいております。役員及び事務局一同大変感謝しております。

来年私たちの母校松江高専も創立50周年の節目の年を迎えます。現在学校において記念事業が検討されていますが、会員の皆様とともに喜びあえるようなイベントも考えていただいているようです。同窓会としてもどのような形で協力でき

るのか考えていきたいと思いますが、会員の皆様からもぜひアイデア等の声を聞かせていただき、反映していきたいと考えています。

本同窓会も6,900名余の会員数を抱える大所帯となっています。会員の総意をもって同窓会を運営することを心がけていますが、運営上の課題は多く、50年という歴史から世代間の意識の違いもある中で、適切な運営方法を模索しているのが実情です。同窓会全体での活動とは別に、地域内やクラスのネットワークをベースにした交流も大切になると感じています。その意味においても、同窓会が会員にとってどのような存在であってほしいか、皆様の率直なご意見もお寄せいただきたいと思います。

本同窓会を会員により身近に感じていただけるよう努めてまいりますので、一層のご理解とご支援をお願いします。

## 古きをたずねて新しきを知る

松江工業高等専門学校 副校長(管理運営担当) 黒田 祐一



副校長の黒田です。学校を代表してご挨拶申し上げます。

私が一般科目(社会)の教員として松江高専に着任したのは昭和63年4月、まだソ連や西ドイツがあり、夏にはソウルでオリンピックが開かれ、世間はバブル景気に湧いていました。爾来25年、情報

工学科や専攻科ができ、女子寮が建ち、校舎改修で学びの庭ができるなど、松江高専も大きく変わりました。昨年度末には開校時からあった直野寮1号館がついに取り壊され、別の場所に新しい棟が建ちました。また、学科や施設だけでなく教育内容も次々に更新されており、技術というものが本当に日進月歩であることを強く感じています。

松江高専は来年、昭和39年の開校から数えて50周年を迎えます。これに合わせて来年度にはさまざまな記念行事を実施する予定ですが、その中に「ホームカミングデー」という企画があります。思い出の写真・資料の展示のほか、退職された先

生のお話、温故知新的な校内見学ツアーなどを予定しています。若い頃に高専で過ごした時間は、何物にも代え難い、貴重な宝です。最近、NHKが過去の同じ日にあった出来事を毎日放送するなど、過去を振り返るのが静かなブームになりつつあるのを感じます。50周年という節目の年に、あらためて高専時代の懐かしい思い出に浸ってみたいかがでしょうか。同窓会の皆様には、この機会にぜひ一度、母校にお越しいただければと思います。

また、50周年記念誌の発行も予定していますので、皆様に原稿の依頼が来るがありましたら、お引き受け下さいますようお願いいたします。なお、本校在校中のさまざまな昔話(「今だから語れる裏話」「先生の逸話」「寮生活の実態」など)も集めたいと考えております。私も教員としては「古老」になりつつありますので「昔の授業風景」など書いてみようと思います。

最後にお願ひですが、50周年記念事業のための募金について、趣意書を同封しております。ご協力のほど、どうかよろしくお願ひいたします。



# 平成24年度 定年退職教員 紹介

# 退

昨年度をもって、東原哲男名誉教授、恒次秀起名誉教授の2名の先生方が松江高専を定年退職されました。その2名の先生方にお言葉を寄せていただきました。

## 松江高専を退職して

東原 哲男

1980年4月から2013年3月までの33年間松江高専に勤務させていただきました。化学と物理の授業を通して約5千人の卒業生の皆様と、担任(10回)として約400人の皆様と時間を共有させていただきました。初めて担任した昭和56年ご入学の電気工学科の皆さん、いかがお過ごしでしょうか。

私が在職中に最もおぼせたのは部活動です。昭和55年～昭和63年の9年間、バレーボール部顧問としてほぼ毎日体育館へ向かいおりました。残念ながら中国高専体育大会では一度も優勝することができませんでした。昭和60年(第21回中国高専体育大会)では、あと2点取れば優勝というところまで徳山高専を追い詰めたが逆転され、学生と一緒に悔し涙を流しました。平成元年～平成12年の12年間のソフトテニス部顧問の時は、学生の皆様の頑張りで、中国高専体育大会で2回(平成5年と平成9年)団体優勝することができました。平成13年～平成24年の12年間のボート部顧問時代は、顧問としては最も手を抜いたにも関わらず、様々な全国大会で入賞することができました。部員の皆様との33年間の部活動人生が素晴らしいものであったと感謝しております。

現在は週2～3回の磯釣り、野菜作り、四国88寺お遍路、などをしてのんびりと暮らしております。長い間、多くの方々からご厚情を頂きました。厚くお礼申し上げます。



## 松江高専、ありがとう!! — 教員生活を振り返って —

恒次 秀起

私は、平成13年4月から、この平成25年3月まで12年間にわたり電気工学科でお世話になりました。長い様でもあり短い様でもある12年間でしたが、非常に有意義な教員生活を送ることができました。高専にお世話になる前は26年間NTTの研究所で電子部品や光部品の実装技術について研究しており、教員としてやっていけるのかどうか不安だったのですが、教職員や学生の皆さんのおかげでどうにか任務を全うすることができました。

この間、いろんなことを経験させていただきましたが、中でも高専ロボコンと留学生のお世話をしたことが印象に残っています。ロボコンの方は2度も競技委員長をやらせていただき、全国大会での優勝など数々の成果に少しでも貢献できたかなと思っています。また、留学生のお世話では、大山でのスキー合宿や地元の小学生との交流など、普段経験できない貴

重な体験をさせていただきました。

学生指導の面では、卒研究生や専攻科生などの研究活動が印象に残っています。着任当初はあまり実験器具などもなく苦労しましたが、徐々に装置や部品などもそろってきて、光部品などの研究にある程度の成果を出すことができました。今後、面白い成果が出てきそうな時に定年退職となり非常に残念な思いがしています。

現在は、埼玉の方で週一の非常勤講師(大学で実験のお手伝いをしています)、家や庭の整備、趣味のゴルフなどに精を出して、毎日忙しく過ごさせていただいております。

最後になりますが、同窓会の皆様、松江高専が今後ますます発展されますように祈念いたしております。ありがとうございました。



高専ロボコン中国大会



留学生と生馬小との交流

# 会員の声

在学中の部活動の思い出を2名の会員の皆様より文章を寄せていただきました。

## ■情報工学科1期生として過ごした思い出

29期・情報 古藤 綾(旧姓:森山)



私は今から21年前の平成4年、新設された情報工学科に1期生として入学しました。同科新設と共に女子学生の数は激増する事となります。私達1期生には13名。当時は、ようやく女子専用トイレが設置されるなど設備面で多々不

自由がありましたが、今では女子寮も完備したと聞き、当時の状況を知る者としては感慨深いものがあります。

同級生達との絆を育んだひとつが体育祭です。特に初めての体育祭は、私達情報工学科は1年生だけで臨みました。それでも他学科に負けなようリーダーを中心にクラスの全員が毎日遅くまでデコ制作や応援歌作りに奮闘しました。優勝など夢のまた夢でしたが、5年間毎年新たな挑戦をし続けることが出来たのは1期生だからこそだと思います。

その後も高専祭をはじめ様々な場面で手探りをしながら自由に、0から作り上げる過程を楽しみました。私達の成長が創設時の情報工学科の成長でもあったように思います。

時と共に私達を取り巻くIT環境も様変わりしました。松江高専が今後一層時代を牽引する人材の育成に寄与されますようお祈り申し上げます。

## ■硬式テニス部での思い出

30期・機械 山藤 隆史



低学年の頃、私はあまり熱心な部員ではありませんでした。ただ、4年生の頃の練習試合で、1学年下の人と試合をした時に初めて自分なりに納得の出来る試合が出来ました。そこから、諸先生方のご指導もあって真面目に練習

し、中国高専テニス大会ダブルス個人戦にて3位入賞という成績を収める事が出来ました。勉強にも通じることですが、ベスト4を懸ける試合は、プロスポーツの選手が口にする「ゾーン」というものに、入り込んでいた様な記憶があります。格上の相手でしたが、ペアのすばらしいプレーもあり、途中から追い上げ、だんだん負ける気がなくなり、もの凄い集中だったのを覚えています。卒業後も一度ゾーンを体験しました。現在も、松江で週に1度プレーしています。学生の皆さんは勉強に集中することが一番大切ですが、よかったですら私と一緒にテニスでゾーン体験をしてみませんか?

## 学校創立50周年記念事業とホームカミングデー2013について

松江工業高等専門学校 創立50周年記念事業実行委員会

本校は平成26年に創立50周年を迎えます。これを記念しまして、以下の事業を実施する予定です。

### 【学校創立50周年記念事業】

- 記念誌の刊行
- 記念式典・祝賀会の挙行(平成26年11月1日(土))
- 学生向けコンペティションの実施
- 松江高専新ロゴマークの募集
- 記念講演会の開催  
(平成26年10月11日(土)～12日(日)(高専祭期間中))
- 記念ホームカミングデーの実施
- 記念テクノセンター(仮称)の整備
- その他創立50周年記念事業への支援

これらの事業の詳細は、本校HPや同窓会会報(復刊第4号)などでお知らせします。

また記念事業のイベントとして、今年10月にホームカミングデーを設けました。詳細は右記の通りです。皆様のご参加をお待ちしています。

### 【ホームカミングデー2013】

- 日時 平成25年10月13日(日・高専祭) 13:00～16:00
- 場所 松江高専福利施設(学校食堂)
- 内容 12:30 受付  
13:00 キャンパスツアー  
(教室、直野寮、学びの庭など)
- 14:00 松江高専の思い出(OB教員講話)  
ご登壇予定のOB教員  
河原健次先生(体育、ラグビー・陸上部)  
岡本信之先生(数学、野球部)  
東原哲男先生(化学、ボート・バレー部)  
\*この他、現任教員も参加します。
- 15:00 ティーパーティー
- 16:00 閉会

申込方法 参加希望の方は、10月7日(月)までに氏名、連絡先(TEL、e-mail)、在校時の所属先(学科、部活動など)を実行委員会へe-mail(anniv50@matsue-ct.jp)またはFAX(0852-36-5119)にてお知らせ下さい。